

虎の門病院における無痛分娩

1. 無痛分娩とは

無痛分娩とは陣痛の痛みを軽くする方法で当科では硬膜外麻酔という腰から入れたカテーテルから麻酔薬を入れる方法を計画分娩で実施しています。

2. 対象

対象は心臓や精神などに病気があり、陣痛による負担を軽減することが望ましいと考えられる方や無痛分娩を理解した上で希望される経産婦です。

3. 申し込み

- 妊娠16週から20週頃に分娩の申し込みをする時にご希望を伺います。
- 分娩35週頃に最終的なご希望と医学的な判断をもとに実施を検討します。
- 妊娠38週頃を目安としますが、子宮口の状態などによってご希望の時期に計画分娩ができるとは限りませんのでご了承下さい。

4. 説明と同意

麻酔分娩を希望される方は麻酔科にて麻酔分娩の利点と副作用等を含む説明を受けた上で文書による同意を頂きます。

5. 計画分娩

当院では現在のところ24時間体制で無痛分娩をおひきうけすることはできないため無痛分娩を希望する場合には計画分娩になります。

6. 計画無痛分娩の実際

- 1) 前日に入院して母体と赤ちゃんに異常がないかチェックします。
- 2) 当日、麻酔科医師が腰から硬麻外カテーテルを挿入します。
- 3) 当日、計画的に陣痛を誘発するために産婦人科医師が人工的に破膜します。
- 4) 陣痛促進剤を点滴して陣痛を誘発し、ある程度子宮口が開いてきたらカテーテルから麻酔薬を入れて陣痛を和らげます。
- 5) 陣痛が弱くなったり、回旋異常が起きやすくなるため分娩が長引いたり、吸引分娩や鉗子分娩などの器械分娩になる可能性などが高くなります。

7. 計画分娩の注意

- 1) 自然に陣痛が来る場合と異なり、人工破膜や陣痛促進剤を使用しても陣痛がこないことがあります。この場合でも人工破膜をしていて感染のリスクがあることから長期間の経過観察はできず翌日を含めて生まれるまで分娩誘発が必要になります。
- 2) 計画分娩は安全性から日中のみのため日中に生まれない場合には通常のお産と同じように自然の陣痛でお産をして頂きます。

6. ご質問・ご意見等

麻酔分娩に関するご質問・ご意見等ありましたらお気軽にスタッフまでお尋ね下さい。